

コラム

平成22年3月に廃止された花月園競輪場が平成27年度の終わりに解体工事が始めるのに先立ち、11月23日、バンク(競走路)の一部を1日限定で特別公開する「さよなら花月園競輪場イベント」が開催されました。当日は競輪選手によるメモリアルレースが行われ、最後のレースを一目見ようと多くの観客で賑わいました。



↑イベント当日のメモリアルレースの様子

◆花月園は東洋一を誇った大遊園地!? 日本初の児童遊園地だった!



↑花月園遊園地時代の案内図
森永の広告が載っていました。
京急花月園前駅も花月園遊園地の開業に合わせて大正3年に開業しました。

花月園の歴史は、江戸時代から子育て観音で有名だった東福寺の境内に、大正3年に開業した日本で最初の児童遊園地「鶴見花月園」から始まります。新橋ー横浜間に鉄道が開通した明治5年に鶴見駅も開業し、鶴見は交通至便の地でした。富士山や首都東京を眺望し、鶴見川や東京湾を眼下に見下ろす起伏に富んだ丘陵地であったことから、この地が選ばれたとされています。

7万坪の敷地にブランコ、滑り台、観覧車、豆汽車、大山すべり、大入り弁財天、ダンスホール、少女歌劇、動物園、テニスコート、ボート池、屋内アイススケート場、西洋花壇等が次々にでき、東洋一の大遊園地と称されました。

実は、日本で初めての全国児童絵画展が開かれたのも花月園だったのです!
(大正5年)



◆総収容人員25,125名の大規模競輪場

昭和21年に花月園遊園地が閉園。その跡地に昭和25年に花月園競輪場ができました。敷地面積約44千平方メートル、座席数1,784席、総収容人数25,125名の大規模な競輪場でした。

横浜市内唯一の公営競技場として約50年間、地方財政に大きく貢献してきました。しかし、その後のレジャーの多様化、バブル経済崩壊以降の景気低迷により売上減少が続き、平成22年3月にその幕を閉じました。

競輪場跡地は将来、公園・宅地等に生まれ変わる予定です!
これまで鶴見に活気をもたらしていた花月園跡地が、再び笑顔であふれる、日が待ち遠しいですね!



写真提供: 鶴見歴史の会 齋藤美枝さん
参考文献: 「鶴見花月園秘話 東洋一の遊園地を創った平岡廣高」齋藤美枝
「花月園観光三十年史」花月園観光株式会社

